

教育課題 1 3 分科会「社会性（キャリア教育）」運営概要

【研究課題】

勤労観・職業観を育むキャリア教育の推進と校長の在り方

【リーダーシップの視点】

- 1 自尊感情を高め、自己や他者への積極的関心を形成・発展させる教育課程の編成
- 2 身の回りの仕事や環境に関心をもち、目標に向かって努力する態度の育成

I 分科会研究協議の運営計画

○リーダーシップの視点1について

キャリア教育の推進に当たっては、学ぶことと働くことを一元的にとらえ、生きていくための基盤となる力（基礎的・汎用的能力）の育成に焦点化した指導が大切になる。

□人間関係調整能力 □情報活用能力 □将来設計能力 □意思決定能力

⇒◆人間関係形成・社会形成能力 ◆自己理解・自己管理能力 ◆課題対応能力

◆キャリアプランニング能力

上記の基礎的・汎用的能力を、各教科・領域を横断的・総合的に指導できるよう、校内体制整備も含め、教育課程の編成における校長の果たす役割と指導性を明らかにする。

○リーダーシップの視点2について

①人、社会、自然、文化と関わる体験活動を通して

②各種当番活動や勤労生産的な活動などを通して

自らの役割を果たそうとする意欲や態度を育むことが重要となってくる。

働くことに対する実感的な理解を深め、他者と関わる力を育成し、学校生活の中での責任や勤労などの概念を理解・定着させる校長の役割と指導性について究明する。

II これまでの成果と課題

～釧路・弟子屈大会から～

【成果】・次の点について共通理解が図られた。

- ①夢や希望、地域の愛着、自尊感情を高めることなどの大切さ
- ②教育課程に位置づけることの重要性
- ③職業体験などの体験的な学習の有効性（学習意欲に繋がる。）

【課題】

- ①中学校に繋げるキャリア教育の在り方（職業体験だけがキャリア教育ではない。）
- ②それぞれに抱えている推進する上での課題（教室の学びと繋げていくことが肝要。）
- ③校長のリーダーシップを発揮する具体的取組

～上川大会から～

【成果】・次の点について共通理解が図られた。

- ①小学校における「キャリア教育」の目指す方向性について
- ②既存の教育活動を見直し、「キャリア教育」の断片を関連づけることが、「学習意欲」を向上させ、「学ぶ意義」を自覚させることにつながる。
- ③小学校における「キャリア教育」では、「基礎的・汎用的な能力」の育成を目的とする。

【課題】

- ①自校のキャリア教育推進における課題認識と、推進するための具体的な方策の在り方
- ②キャリア教育についての教職員や家庭・地域への周知と連携の在り方
- ③キャリア教育についてのマネジメントサイクル（PDCA）の確立

Ⅲ 研究発表の概要

- 研究発表者 札幌市立美香保小学校長 本間 雄一 先生
- 発表題

「基礎的・汎用的能力の育成によるキャリア教育の推進と自校化に向けての具体的取組」
～「未来を拓く札幌人育成」を目指す学校教育活動と校長の役割～

○発表の要旨

- 1 前年度までの研究内容のまとめ
 - (1) 小学校におけるキャリア教育の目指す方向性について
 - (2) キャリア教育で育てたい「基礎的・汎用的能力」を育む教育活動の見直しについて
 - 2 キャリア教育を意識した教育活動の事例（札幌市内の小学校における実践例）
 - (1) 4つの「基礎的・汎用的能力」を育む実践例
 - (2) 地域社会との連携をいかした実践例
-
- 3 キャリア教育の自校化を図るための取組と課題について

Ⅳ 協議の流れ（13：00～16：30）

- 1 グループ編成及びグループ内の自己紹介 ※名刺交換を予定（各自10枚程度の名刺を用意）
- 2 分科会の趣旨説明（約10分間）・・・札幌市立白楊小学校長 飯塚 泰久 先生
※参加型から参画型の分科会を目指して
- 3 研究発表（全体で約25分間）・・・札幌市立美香保小学校長 本間 雄一 先生
- 4 グループ討議・・・二部に分けて実施することで、より焦点化したグループ討議を目指す。

討議の柱①・・・**キャリア教育推進における留意点について**

★**研究発表の前半部分を受けて実施**・・・全体交流でキャリア教育の概念についての共通理解を図る。

討議の柱②・・・**キャリア教育を自校化するための課題と具体的取組について**

★**研究発表の後半部分を受けて実施**・・・自校化のための課題と具体的取組についてグループ毎の企画案を交流する。

- 5 まとめと今後の課題（約15分間）

（文責： 札幌市立伏古北小学校 池田 洋）